



前進

薩摩川内市立
祁答院中学校
学校だより
12月号
令和5年12月22日

何としても、どうしても

～熱意と行動を支えるもの～

校長 末留 健太郎

師走の候、年の瀬が迫るこの時節には、一年を振り返る特番がメディアでよく流れます。世相や政治、事件やスポーツ等を観ていると、こんなこともあったな、これも今年だったかと思い出しながら、あらためて時の早さを感じることです。

さて、国際的に活躍する日本企業の中に「松下電器」があります。パナソニックと言えばわかるでしょうか。

創業者の松下幸之助氏は、「経営の神様」と言われます。自転車屋の奉公をスタートにセメント会社や町工場に勤めながら夜学に通って職工資格を取得した苦学生です。大阪電灯に勤めていたとき、「二股ソケット」や扇風機の修理開発で評判を高め、独立してから会社をどんどん大きくしました。関東大震災や世界恐慌のときも、松下電器だけは給料カットや人員整理がなかったそうです。その後も先進的な開発を進め、ついに世界的な企業に成長しました。



Panasonic



あるインタビューで「成功の秘訣は」と聴かれたとき、彼はこう答えました。

「何としても2階に上りたい、どうしても2階に上がろう！」

この熱意がハシゴを思いつかせ、階段を作る。上がっても上がらなくてもいいと考える人からは、ハシゴは生まれません」



また、神様と評されることに松下幸之助は「自分はただの凡人」と言っています。学歴もなく、病弱で、帰る故郷もなかった彼は、周りはみんな物知りで幸福な人たちと感じていたそうです。だからといって、自分は不幸だと悲観せず、どうすればよいか考えて実行した、それが彼の非凡さだったように思います。

何かをやろうという熱意を持ち、よし！と奮起する、ここまでは割と多くの人が経験します。しかし、途中で課題が見えてくると、熱意が冷めてやめてしまう、「ハシゴを思いつく」前にあきらめてしまうことも多いようです。

つまり、何かを為すためには熱意だけではダメで、そこにたどり着くための知識や技術、経験や人脈を得る努力をして、いまの自分にはない新たな視点や発想をもつことが大切なのです。松下幸之助も、いろいろな学問を学び、多種多様な業界の方と交流して、未来に必要な新しい何かを常に探していたようです。



中学生の立場で考えると、いまの学習や体験は、この先の自分に新しい視点や発想をもたらす基盤になるものです。やるぞという決意や、こうなりたいという目標をまず持つこと、それに向かう努力をすること、この両輪が大切です。

ちなみに、松下幸之助がきれいな言葉、それは「別に」「どうでも」だそうです。

受賞おめでとう

内閣官房府主催の北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール2023において、本校3年生 羽島 奈穂さんが、全国一位となる最優秀賞に輝き、16日(土)「拉致問題に関するシンポジウム」の中で、内閣官房長官より表彰されました。羽島さんは、このシンポジウムの中で発表された「拉致問題に関する中学生サミット」の鹿児島県代表に選出され、拉致問題に向き合い、学習を続けています。作文の中で羽島さんは「皆の人権が尊重される当たり前の日々を願い、命と何気ない日々感謝しましょう」と訴えていました。なお、当日の様子は、右のQRコードを読み取ると見ることができます。



【第33回「椋鳩十文学記念館賞」全国読書感想文コンクール】

特選 1年 佐藤 崇馬

【第28回トンボロ芸術村コンテスト書道部門】

南日本新聞社賞 1年 中村 春菜 奨励賞 2年 末吉 友莉

入選 2年 米盛 心美 西牟田 奈菜美 1年 手塚 悠月 山下 森慈

佳作 2年 有村 未来 北原 由來 早崎 広貴 1年 内山 桃歌 早崎 陽菜

【第42回全国中学生人権作文コンテスト鹿児島県大会】

奨励賞 2年 井上 優道 川野 聖那

【令和5年度薩摩川内市中学校英語発表会】

優良賞 3年 竹下 孝諒 2年 西牟田 奈菜美

【さわやか歯と口の健康づくり】

ファミリー賞 1年 高柳 皇翔 湯田 燿次朗

帖佐 悠真 佐藤 嵩馬

【第56回義弘公奉賛剣道大会】

3位 2年 松山 隼人 1年 田子山 龍之介

【Volleyball Fresh Cup 26】

4位 平成・祁答院中学校

人権学習

8日(金)、北朝鮮拉致被害者家族であられる市川 健一さん 龍子さん夫妻を講師にお招きし、「拉致被害者家族から中学生へ伝えたいこと」としての人権学習を実施しました。多くの生徒が、市川さんの事件を「風化させてはいけない」というメッセージを受け止め、行動につなげていきたいという気持ちになりました。



行事予定

9日(火) 始業式

10日(水) 3年第4回実力テスト
(~11日)

12日(金) 英検

13日(土) 土曜授業

16日(火) 鹿児島学習定着度調査
(~17日)

25日(木) 中学校入学説明会

26日(金) PTA理事会



性に関する学習

13日(水)、1年生で、助産師の 岩元 妙子さん により、思春期における様々な悩み、性の違いなどを学習しました。



職場体験学習

5日(火)・6日(水)の2日間、2年生は、事業所の協力の下、職場体験学習を行いました。職業観の育成が図られました。



福祉体験学習

14日(木)、市社会福祉協議会と連携し、高齢者疑似体験等の福祉体験学習を3年生で実施しました。

